

(令和6年4月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	4月の総入荷量は、3月からの全国的な荒天、気温の低下によりまとまった出荷が少なく、同じく天候不良で入荷量が少なかった前年同月並みであった。総取扱金額は、訪日客の増加に伴う需要の高まりや、資材価格高騰の影響を受け、15%上回った。今後も引き続き天候不良の影響で、入荷は平年を若干下回ることが予想される。 5月は、野菜では、実山椒や実えんどうが最盛期を迎え、青梅の入荷が始まる。果実では、マンゴーや桜桃の入荷が増え、メロン類が最盛期を迎える。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月並みであったが、単価は15%上回った。 根菜類の入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は43%上回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で6%上回ったが、需要の増加に供給が追いつかず、単価は19%上回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で6%上回ったが、需要の増加に供給が追いつかず、単価は9%上回った。 土物類の入荷量は前年同月比で3%下回り、単価は8%上回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月比で5%下回り、単価は18%上回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で13%下回り、単価は9%上回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で19%下回り、単価は31%上回った。 いちご類の入荷量は前年同月比で7%上回ったが、大玉品種の増加により、単価は11%上回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で21%下回り、単価は12%上回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん	香川、長崎、鹿児島、滋賀、千葉などから入荷した。入荷量は前年同月比で１８％下回り、単価は５６％上回った。
西洋にんじん	徳島を中心に、長崎、中国、熊本、兵庫などからも入荷した。入荷量は前年同月比で８％上回ったが、単価は主産地で低温や雨天で生育が遅れ、品薄感が強まったことから５７％上回った。
たけのこ	京都を中心に、福岡、徳島、熊本、鹿児島などからも入荷した。入荷量は前年同月比で２４％上回り、単価は９％下回った。
【葉菜類】 はくさい	茨城、宮崎、兵庫、長崎を中心に、熊本などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１７％上回ったが、暖冬で秋冬作の収量が早まり、春作は寒さの戻りで生育が鈍化し単価は３１％上回った。
キャベツ	愛知を中心に、滋賀、京都、神奈川、兵庫などから入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、販促の増加に供給が追いつかず、単価は３０％上回った。
ほうれんそう	茨城、岐阜、京都、福岡を中心に、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で２９％上回ったが、単価は品薄により高値で推移した前年同月並みであった。
レタス	兵庫を中心に、徳島、茨城、長崎、岡山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で６％下回り、単価は３０％上回った。
【果菜類】 きゅうり	宮崎を中心に、高知、滋賀、福岡、佐賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で３％上回ったが、サラダ需要の増加に供給が追いつかず、単価は２５％上回った。

なす	高知を中心に、岡山、京都、熊本、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は10%上回った。
とまと	熊本を中心に、福岡、三重、佐賀、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で8%上回ったが、単価は9%上回った。
ピーマン	宮崎、高知、茨城を中心に、鹿児島、韓国などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、サラダ需要の増加に供給が追いつかず、単価は23%上回った。
【土物類】 ばれいしょ (メイクイン含む)	鹿児島、北海道、長崎を中心に、熊本などからも入荷した。入荷量は前年同月比で16%上回り、単価は18%下回った。
たまねぎ	北海道、長崎、兵庫を中心に、中国、佐賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で14%下回り、単価は36%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
甘夏かん	鹿児島、愛媛、熊本、福岡を中心に、和歌山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で36%上回ったが、単価は3%上回った。
清美オレンジ	和歌山を中心に、佐賀、愛媛、福岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で52%下回り、単価は17%上回った。
富士 (サン富士含む)	青森を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は32%上回った。
いちご	福岡、大分、熊本、佐賀、長崎などから入荷した。入荷量は前年同月比で7%上回ったが、大玉品種の増加により、単価は11%上回った。
アールスメロン	静岡、高知を中心に、熊本、ホンジュラス、メキシコなどからも入荷した。入荷量は前年同月比で16%下回り、単価は18%上回った。
大玉すいか	熊本を中心に、高知などからも入荷した。入荷量は前年同月比で6%上回ったが、単価は4%上回った。